

申請者	佐賀県ほか 2 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,453,901千円 (681,480千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	【本物の地域資源が溢れる有明海沿線地域を一体的にエリアブランディングし、国内外から何度でも訪れたい地域へ】 ・鹿島・太良町エリア一体を、“スローツーリズム”の聖地として、ブランディング。 ・肥前鹿島駅エリアは、ツーリズムのフロントとして、新駅舎（“えきやど”駅舎（宿））を核に整備。駅を拠点に、沿線各地に宿泊したり、ガイドブックに載っていない地元飲食店で食事をしたり、有明海の全景を巡るローカル鉄道を楽しんだり、といった地域ブランドを活かした新たな旅を提供し、新たな人の流れの創出や関係人口の拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 プロジェクトの拠点“KATAラボ”を現地に開設！ 申請自治体職員が常駐し、官民の連携をサポート ・新駅舎のえきやど（宿）等は、地域資源の高付加価値 を得意とする民間事業者グループが独立採算で経営 ・民間事業者グループは、整備に先立ち、公募で決定					鹿島・太良のフロントへリニューアル！ 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ソフト事業 ○鹿島・太良スローツーリズム ブランディング費用 44,456千円 ・グルメブランディング、地域プロデューサー育成 など（委託料） ○肥前鹿島駅エリア全体プロデュース費用 など 35,257千円 ・新駅舎ブランド戦略・商品開発、稼働運営体制構築 など（委託料等） 拠点整備事業 ○肥前鹿島駅えきやど駅舎（新駅舎）整備費用 575,367千円 ・用地造成、建築物本体工事 など						
主なKPI	①鹿島・太良エリアの観光入込客数（+120万人） ②鹿島市の観光入込客数/鉄道利用者数（+0.1%） ③沿線えきやどの宿泊者数（+16,990人） ④肥前鹿島駅の飲食・物販ゾーンの売上額（+3.3億円） ⑤肥前鹿島駅前まちなかエリアへの新規出店数、新規イベントの開催回数（+18回） ⑥特産品や旅行商品、地域をPRするイベントの新規件数（+34件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.saga.lg.jp/list00502.html

※佐賀県、鹿島市、太良町の広域連携事業